

平成24年11月13日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 大脇 功嗣  
(JASDAQ・コード7519)  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 管理部長 大橋 肇  
電 話 0568-76-1050

## 継続企業の前提に関する事項の注記についてのお知らせ

当社は、平成24年11月13日開催の取締役会において、「平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正についてのお知らせ及び第36期第2四半期報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

当社グループは、前連結会計年度までの7連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間においても、重要な営業損失を計上するとともに、営業活動によるキャッシュ・フローも当第2四半期連結累計期間において重要なマイナスを計上いたしました。

これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消するため既存のカーテン事業におきましては、一部商品の売上高が減少していた「インハウス」に関しては、平成24年9月に4年ぶりに大幅改訂した見本帳を発表し第3四半期以降での挽回を図るとともに、世界でもトップブランドであります「ニヤ・ノルディスカ」を、この度日本向けにアレンジした見本帳を準備し、設計関係を中心にさらなる販売増加を目指してまいります。

また、当連結会計年度より開始しております新規事業の1つりモデリング(リフォーム)事業におきましては、当第2四半期後半から売上高が付き始めており、第3四半期以降におきましては安定した売上高を獲得できる見込みであります。さらに、環境事業におきましても新規商材の採光機能カーテン「エコフィックス」を中心に現在提案進行中の物件獲得及び新たな販売ルートの開拓を行い、売上高増加に努めてまいります。

しかしながら、こうした取り組みは実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

以 上